

(仮訳)

ウクライナにおける原子力安全及び核セキュリティの確保に向けた  
I A E A の取組を支持する G 7 不拡散局長級会合 ( N P D G ) 声明

G 7 の首脳及び大臣は、ウクライナに対するロシアの軍事侵略を非難した。

G 7 N P D G は、ウクライナの原子力及び放射線施設の場所及びその周辺におけるロシアの攻撃に深い懸念を抱いている。そのような行為は、ウクライナの平和目的のための原子力施設の安全と核セキュリティを脅かし、原子力事故や衝突のリスクを著しく増大させ、市民及び環境を危険にさらす。それらはまた、ウクライナによる原子力に関する平和的な活動に対し、保障措置を目的としてモニタリングを行う I A E A の能力を弱体化させる。

ラファエル・グロッシー I A E A 事務局長の最近のウクライナ及びロシア訪問は、ウクライナの領土とインフラに対する同国の完全な主権を尊重しつつ、緊急の課題として、技術的機材の配送を含め、ウクライナの核物質及び原子力施設の安全と核セキュリティ及び保障措置の適用の確保の推進を目的として行われた。

G 7 N P D G は、ウクライナにおける原子力安全と核セキュリティに大きく貢献するものとして、ラファエル・グロッシー事務局長の取組を歓迎し、本件における事務局長とその職員の不断の取組に感謝する。N P D G は、I A E A に対する完全かつ継続的な支援を強調した。

G 7 N P D G は全ての国に対し、I A E A の支援に関する取組を支持し、ウクライナに対する技術的支援を促進し、保障措置を回復、維持するために必要なリソース及び機材を I A E A に利用可能なものとするよう慫慂する。

我々は、I A E A 職員が、ウクライナの全ての原子力施設に安全かつ不当な障害なくアクセスし、これらの施設の運営に責任を有するウクライナ人職員と直接に、また、干渉されることなく協働することが可能となるべきであることを再確認する。これら取組を実施する全ての人員の安全は確保されなければならない。